

越後 皆沢川

棚橋

【日時】 2006年10月14日（土）

【メンバー】 佐貫（L）、棚橋、大田原

積雪期には何度か訪れている金城山だが、沢からは初めてである。リーダーは日帰り遡行用として前々から温めていたようだが、いったいどれ位我々を楽しませてくれるのだろうか。

10月14日 晴れ

駐車スペースに車を止めて準備していると、車が1台到着し登山者らしき2人が現れた。今までこの付近で登山者に会ったことがなかったので多少違和感があったが、無雪期には多くの登山者に親しまれている山なので当たり前か。しかしさすがに沢からではないようである。まずは滝入コースを進む。橋を渡りしばらく進み、再び沢を渡り返す辺りが2合目であり、ここから入渓する。

出だしに現れた15m滝は左側を灌木伝いに容易に登れ、逆くの字3m滝、3m滝、更に樋状10*20m滝と次々現れるが何れも斜度は緩い。その後も小滝が連続し飽きさせない。ナメ滝10*15mの上部にスラブ滝8*10mが現れ、更にその先は100mを越えようかというナメが続く。深い切れ込みを通過すると右岸側に登山者の姿が確認でき少々驚くも、その先にて登山道が横断していた。この辺りが4合目のようだ。支沢が右から入ると5m滝が現れ、ここは登れないので左から巻く。標高700mの二俣を左に進むと2段12m滝、4m滝、5m滝と続き、更に右から枝沢が入っているので左に進む。小さな滝を幾つか越えていくと10m滝が現れ、ここは右から巻き始め、続く4m滝も合わせて通過する。5m滝を越えるとその先に側壁がつるつるの5m滝が現れる。右手前に灌木が1本生えているが、それに掴まって足を延ばしても緩傾斜のステップまでは届きそうも無い。たとえスリップしてもドボンするだけだが、ずぶ濡れになるには少々寒い季節だし巻きも簡単だ。しかし大田



出だしの大滝



原は果敢に取り付き、そして粘ってここをへつり通した。私もつられて通過したが、ドボンしなくて本当に良かった。

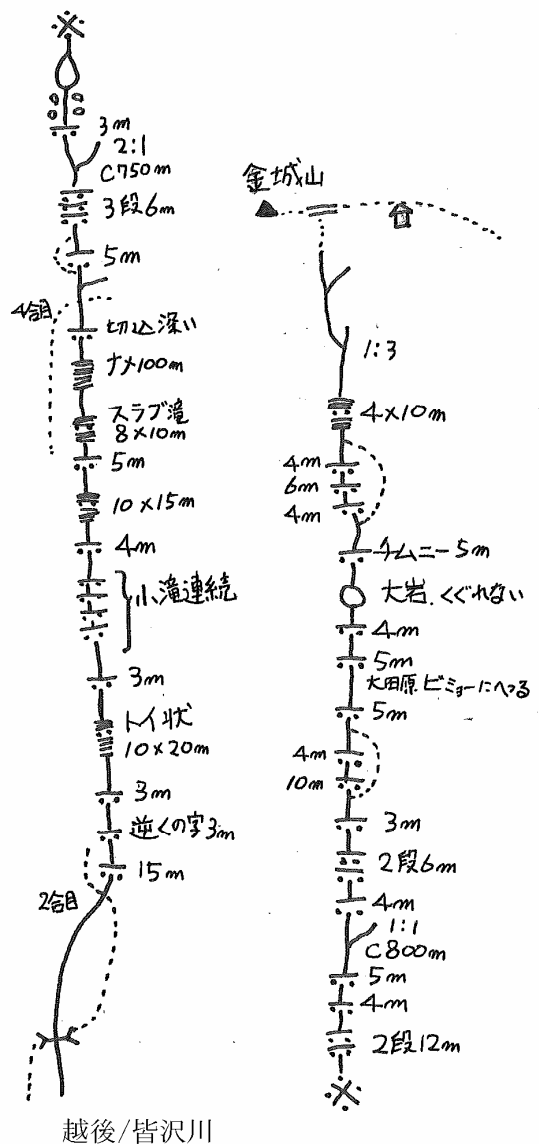
4m滝を越えた先で、大岩の間から水が流れ落ちているところに遭遇したが潜れないので乗っ越すことにする。チムニー滝5mは登ったが、先の3連瀑は右からまとめて巻く。その先のナメ滝を通過すると後は左左と進み、沢型が消えた後も大した藪漕ぎにもならず、山頂の少し西に飛び出す。ジャンクションまで往復した後、改めて避難小屋に進み大休止をとる。小屋付近では複数のパーティが思い思いに休憩を取っていた。その後は紅葉と展望を満喫しながら、滝入コースを下山した。

金城山は雪の無い季節もなかなか良かった。このように四季を通して楽しめる金城山といい、越後は奥が深い。

【行程】 10/14 滝入コース登山口 (7:00) ~ 2合目 (7:15) ~ 金城山 (12:05/12:40) ~ 滝入コース登山口 (14:30)

【地図】 六日町

【グレード】 2級



【日時】 2006年10月14日

【メンバー】 佐貫(L)、棚橋、大田原